SDGs達成に向けた取組みチェックリス **更新**　事業者名：社会福祉法人八代ひかり福祉会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・職員会議等で常に経営理念を確認するようにしている。また、全クラスに経営理念を掲示している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・全職員に法令遵守と、保育士としてのあるべき姿、モラルを書面（「八代ひかり福祉会職員として」を毎年4月に改訂・発行）で示し、徹底するようにしている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・経理規定等で、公正な競争を確保するため、相見積もりを取るなど、フェアな競争確保に取り組んでいる。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・地域の悩み相談などの担当及び責任者を任命するなど、組織体制を整備している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・選曲や録画など、著作権等の侵害にならないよう事前に許可を取ったり、発表会で楽曲をDVD化しても保護者に販売等しない等、知的財産保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の園外への持ち出し禁止、守秘義務など就業規則に明記し、徹底を図っている。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・保護者等の率直な意見を集めるため目安箱を設置したり、保護者会を年3回開催している。また、園長会が3カ月に1度は開催され、関係機関との情報交換、共有に取り組んでいる。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・日頃から保護者の活動に関心を持ち、そのニーズに合わせた取り組みを行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・BCPを2021年1月に策定し、八代市とも連携している。避難訓練は、毎月行い、その都度見直しを行っている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・日々の業務を通じて事業承継に関する検討・対策を行っている。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則で規定し、ハラスメント責任者（福利厚生責任者：相談窓口）を全クラスに配置している。また、社会保険労務士による啓発講演会も実施し徹底を図っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・全職員に対して専門家によるカウンセリング、産業医によるストレスチェック、産業医を囲んでの衛生会議、園内環境のチェック指導も受けるようにしている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・短時間勤務職員を除き、7時間以上勤務職員は同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・早出の職員は早めの退勤、残業時間の管理徹底など、職場主任が確認、徹底するようにしている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・保育士資格の取得、ピアノのレッスンなど、国の助成金を活用するなど、各自のスキルアップを促している。また、資格取得等に係る休暇を付与するなど、能力向上を支援し、奨励している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断を実施し、要検査の職員には、園の看護職員（4人）がチェックしフォローアップを行うようにしている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・80代の保育士を雇用したり、障がいの度合いにもよるが、障がい者の雇用の体制整備を行っている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・クラスの状況を見て、時差出勤を実施したり、職員研修等ではウェブ会議等を積極的に導入している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・20年以上前から職員にPCを配布し、記録等はノートは用いず、アプリを活用しペーパーレスを実現している。最先端のICTを導入し、職員、児童の入退出、残業の把握等を行っている。また、DXの専門職員の配置も行っている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・2021年に申請し、ブライト企業として認定された。			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリス **更新**　事業者名：社会福祉法人八代ひかり福祉会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・園内で出る残飯をゴミサーで処理し、堆肥にし畑に撒いたり、臭いを取るために工コ無臭を活用している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・園内の毎月の電気代等は把握している。また、屋根に太陽光パネルを設置したり、電灯はLEDに変更し、電化製品なども省エネ製品を積極活用している。また、令和3年から簡易計算シートを用いてエネルギー使用料を算出し削減に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・屋根に太陽光パネルを設置したり、車両はハイブリッド車を2台導入している。将来的には電気自動車への転換に取り組んでいく。また、令和3年から簡易計算シートを用いてCO2の排出量を算出し抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・プラスチック製のゴミ袋は使用せず、おむつなどはエコ無臭で処理している。また、園内はなるべく多く緑地を確保するよう取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・園内で出る残飯をゴミサーで処理し堆肥にし畑に撒いたり、ノートを使うことを止めて電子アプリを活用しペーパーレス化に取り組んでいる。また、カレンダーをはじめ裏紙を活用するなど再利用とゴミの削減に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・日頃から職員、保護者に節水の重要性を伝え意識啓発を行っている。保育園でも、手を洗ったりする時は止めてから荒いまた水を出すして流すといった取り組みを行う		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・グリーン購入に積極的に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・なるべく残飯が出ないように、個々の園児に聞きながら必要な量を与えたり、園児間でシェアするなど工夫を凝らし食品ロス削減に取り組んでいる。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・園内、園外とも積極的に緑化に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・屋根に太陽光パネルを設置したり、電灯はLEDに変更し、電化製品なども省エネ製品の活用に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・山林を所有し、杉檜の育成を行っている。また、園内の机、椅子はパイプ製であったが、全て県産材を活用した木製に転換している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・山林を所有し、杉檜の育成を行っている。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・紙製のスプーンを導入するなど、プラスチック製品の使用の抑制に取り組んでいる												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・園の車両について現在2台ハイブリッド車を導入している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリス **更新**　事業者名：社会福祉法人八代ひかり福祉会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・取扱いに注意が必要な遊具などについては、保護者、園児にもあらかじめ伝え、園児に考えさせながら使用するよう指導している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・エレベータを設置したり、段差の解消、スロープ、手すりの設置、車椅子対応のトイレ、風呂の導入等に取り組んでいる。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・県産材の机、椅子を使ったり、給食はできるだけ地元八代の食材を使うよう取り組んでいる。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・園内の机、椅子はパイプ製であったが、全て県産材を活用した木製に転換するなど可能な限り木質化に取り組んでいる。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・夜間保育などの事業を通じ、食に困る保護者や園児に夕食を提供したり、給食施設等で発生する廃食油を関係業者に提供し有効活用いただくなど、社会課題解決に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・理事長自ら地域の婦人防火委員に20年以上就任すると共に、幼年及び少年消防クラブを結成し、地域の消防団とも活動し、全国消防大会出場経験を有する。また、老人福祉施設との交流や地域のお祭りにも積極的に参加するなど、日頃から社会貢献活動に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ハザードマップを確認し、園として避難行動計画を策定し、年に2～3回避難訓練も実施し反省会等も実施し取り組んでいる。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・職員の中に地域の消防団員が2名おり、幼年、少年消防クラブと地域消防団と連携し活動を行っている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGsの普及啓発のため、職員研修の一環で県の申請登録内容を職員に周知すると共に、その内容を保護者など関係者にも伝えるようにしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・これまでも中学生、高校生、大学生のインターンシップ等を受け入れているが、引き続き今後も積極的に取り組んでいく。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・若者の県内就職を促進するために、これまでも地元採用を進めており、8割は地元関係者であるが、引き続き今後も若者の地元定着に取り組んでいく。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・園児教育の一環で地元のイチゴ農家でいちご狩りを行ったり、園の畑できゅうり等を栽培しているが、地域の農水産物を通した食育にも引き続き取り組む。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。